

## 支線アンカ 概略仕様書

### 1. 適用範囲

この規格は、主として架空配電線路、架空送電線路および独立電話線路の下部支線に用いる地中に打込み、またはねじ込む支線アンカ（以下、「アンカ」という。）について適用する。

### 2. 種類

アンカの種類は2 t用、3 t用および6 t用の3種とする。

### 3. 材料

アンカの材料は、JIS G 3101一般構造用圧延鋼材に規定するSS400または同等以上の強度をもつ材料を使用しなければならない。

### 4. 構造一般

アンカは次の各号に適合しなければならない。

- (1) 規定の張力に充分耐えること。
- (2) アンカの打込みまたはねじ込みに際しアンカ専用の大型工具を必要としないこと。
- (3) アンカの打込みまたはねじ込みが容易にできること。
- (4) 地中部分にはねじ部を設けないこと。
- (5) 溶接を行なう場合は、特に念入りに行ない、これが弱点とならないこと。
- (6) アンカの支線棒環にはTES 6E-12に定める鋼より線用巻付グリップ（シンプル用）を確実に固定できるシンプルを下表に示す数量を取付けること。

種類	シンプル個数	対応巻付グリップ
2 t 用	1	鋼より線用巻付グリップ（シンプル用）22mm <sup>2</sup>
3 t 用	1	鋼より線用巻付グリップ（シンプル用） 30mm <sup>2</sup> ～70mm <sup>2</sup>
6 t 用	2	

- (7) アンカの支線棒およびシンプルの表面には、加工後全面一様に溶融亜鉛めっきを施すこと。その他の部分には、加工後錆落としの上、JIS K 5572に規定する1種またはこれと同等の防錆塗装を行なうこと。

### 5. 試験および検査

試験および検査は下表の通り行ない、この規格の各項に適合しなければならない。

型式試験	受入検査	試験の方法
構造	左 同	肉眼、手触りおよび適当な度器を用いて行う。
荷重		5. (1) による。
上引力		5. (2) による。
亜鉛メッキ		5. (3) による。

#### (1) 荷重試験

アンカに、シンプルと底板の土圧をうける部分に下表に示す使用荷重を1分間加えたとき、シンプルには、5%以上の変形がなく、かつアンカ本体にも異常がないこと。引続き荷重を増加し、破壊にいたらしめた場合、下表の破壊荷重以上でなければならない。

種類	使用荷重 (kN)	破壊荷重 (kN)
2 t 用	19.6	39.2
3 t 用	29.4	58.8
6 t 用	58.8	88.3

#### (2) 上引力試験

アンカを所定の要領で普通土壌に打込みまたはねじ込み、5 (1) の表の使用荷重を徐々に加えた場合10cm以上抜け上がってはならない。

#### (3) 亜鉛めっき

JIS H 0401 溶融亜鉛めっき試験方法により行ない、付着量は450g/m<sup>2</sup>以上であること。

### 6. 荷造

アンカは適当数をまとめて輸送中損傷または変形しないよう適当に荷造りをしなければならない。

### 7. 表示

アンカ荷造りには、支線棒のロット環の近くに「種類」および「製造者名または略号」を表示しなければならない。

以上